広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Mar 2013.3

No.1013

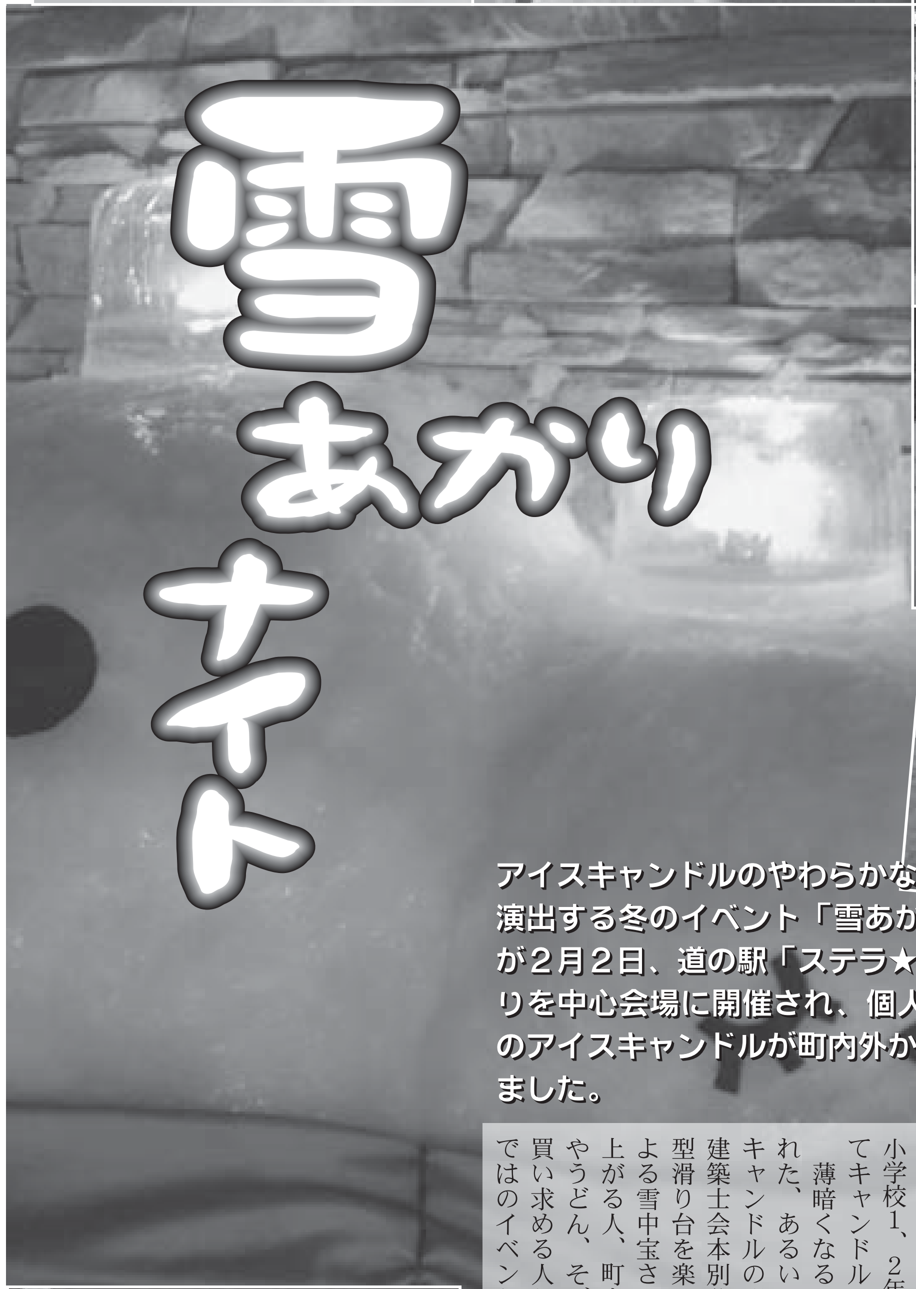
表紙 少年少女
冬のレクリエーションの集い

雪あかりナイト

大型すべり台

点灯式

河合実行委員長



雪あかりナイト

雪中宝さがし

ビンゴ大会

製作頑張りました！
本別高等学校ボランティアクラブ

アイスキャンドルのやわらかな炎がロマンチックな夜のまちを演出する冬のイベント「雪あかりナイト」（実行委員会主催）が2月2日、道の駅「ステラ★ほんべつ」から銀河通り、大通りを中心会場に開催され、個人や団体が製作した約9,000個のアイスキャンドルが町内外から訪れた多くの人を暖かく迎えました。

アイスキャンドルの明かりとともに

午後3時45分から道の駅西側で行われた開会式では、河合篤史実行委員長が「イベントを始めたころは3000個と少なかったアイスキャンドルも、今年は9000個になり、1町民1キャンドルが達成できました。使われているローソクは午後9時ころが一番きれいです。ぜひ見ていってください」とあいさつし、続く点灯式では本別中央小学校1、2年生8人が点火器具を使ってキャンドルに火を灯しました。

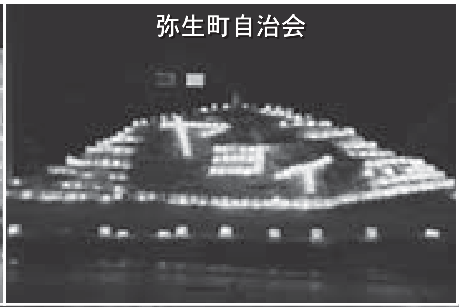
薄暗くなるにつれて、雪上に並べられた、あるいは積み上げられたアイスキャンドルの明かりが輝きを増す中、建築士会本別分会製作の全長33㍍の大型滑り台を楽しむ人、商工会青年部による雪中宝さがし、ビンゴ大会で盛り上がる人、町内飲食店が提供する弁当やうどん、そばなどの温かい食べ物を買い求める人など、思い思いに冬ならではのイベントを満喫しました。

こばやし美容室

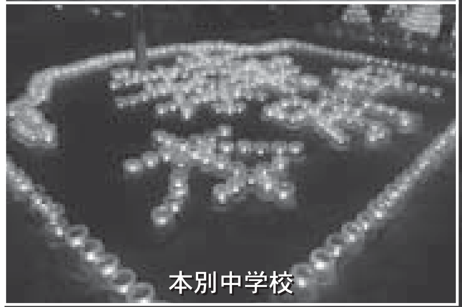
キャンドルコンテスト入賞者

最優秀賞　共栄わらう会
優 秀 賞　杉本エナジ
雪あかりナイト賞　弥生町自治会
特 別 賞　本別中学校

共栄わらう会


弥生町自治会

杉本エナジ

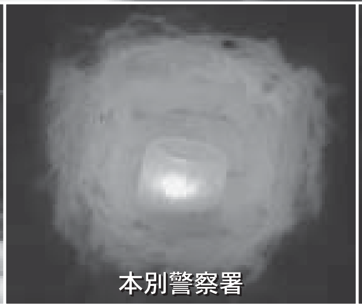

本別中学校

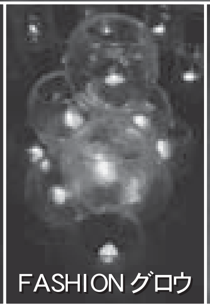
フォトコンテスト入賞者

最優秀賞
菅 原 道 正（柏木町）
優 秀 賞
中 村 一 男（帯広市）
佳　作
高 尾 辰 雄（南４丁目）

最優秀賞作品「あったかいね」

本別消防署


本別警察署


FASHION グロウ

ワンコインフラワー

勇愛工業団地に太陽光発電施設建設

（左から）髙橋町長、伊藤社長

環境負担の軽減に期待

映画興行、不動産業を展開する千葉興業（千葉県）の子会社ロイヤルリース（同）の伊藤慶弘社長が２月７日、役場で会見し、今春５月に勇足の勇愛工業団地内約14,000㎡に太陽光発電施設「シネマックス本別ソーラー発電所」建設を着工すると発表しました。

同施設は、今年９月の完成を目指し、発電出力500キロワット、年間総発電量705メガワットを見込み、一般家庭190世帯に相当する規模の発電所になります。工事費は約１億5,000万円。完成後は、20年間の土地賃貸契約による土地使用料などの長期的な収入が確保されるほか、温室効果ガスであるCO_2を年間約220トン削減する効果もあり環境負担の軽減が期待されます。

伊藤社長は、本別を建設場所として選定した理由として、「本別町の熱心な働きかけがあった」と述べ、髙橋正夫町長は、「クリーンなまちづくりを推進している。町のイメージアップにつながる」と歓迎しました。

国民年金コーナー　その131

こんなときは国民年金の手続き（種別変更）が必要です！

日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入することになっています。

加入の種類（種別）は、

◎第１号被保険者：自営業者や学生など

◎第２号被保険者：厚生年金や共済組合の加入者

◎第３号被保険者：第２号被保険者に扶養されている配偶者（収入が一定額を超えない人）

の３種類に区分されています。ご本人や配偶者の就職・転職、結婚などで国民年金の加入の種類（種別）が変わることがあり、左記の表のように、種別変更等の手続きが必要となる場合があります。

手続きをされなかった場合は、病気やけがで障がいが残ったときや、死亡した場合の障害年金・遺族年金を受け取ることができなくなる場合もありますので、必ず手続きをしてください。

私たち４月から１年生

平成25年度新入学児童名簿（学校別50音順）

町教育委員会では、今年４月に小学校へ入学する児童の名簿を作成し１月末に保護者宛てに就学通知書を送付しています。今年の新１年生は、平成18年４月２日から平成19年４月１日までに生まれた児童で、本別中央小学校31人、勇足小学校７人、仙美里小学校８人の合わせて46人です。該当する人で名簿からもれていたり、就学通知書が届いていない人がいましたら、早めに教育委員会管理課学校教育担当（☎22－2331）までご連絡ください。

本別中央小学校（31人）

荒井将仁（まさと）　市村凪（なぎ）　稲田漣（れん）　井上来未（くるみ）　大塚紳司（しんじ）　小川晴生（はるお）　貝瀬颯一（そういち）　川橋陽菜（ひな）　菊池宥太（ゆうた）　木村元気（げんき）

木村悠希（はるき）　佐藤希咲（きさき）　髙橋心美（ここみ）　髙橋宋太朗（そうたろう）　髙橋雪乃（ゆきの）　武田紗弥（さや）　多留木翔哉（しょうや）　塚原優太（ゆうた）　栃原明巳（めい）　留田宗仁朗（そうじろう）

中田龍玖（りく）　永井奏音（かなと）　南部弘輝（ひろき）　藤原みのり　松本幸晟（こうせい）　真鍋里緒（りお）　望月和奏（わかな）　山口暖人（はると）　山田衣純（いずみ）　山西麻央綾（まおり）　渡邉祥太（しょうた）

勇足小学校（７人）

井内千尋（ちひろ）　井原愛結（あゆみ）　西久保春稀（はるき）　福良颯太（そうた）　標春菜（はるな）　宮脇鈴奈（りんな）　山田咲矢花（さやか）

仙美里小学校（８人）

大沼芳輝（よしき）　小倉瑠偉（るい）　佐々木ひな　新津優羽（ゆうは）　仁王頭麗（れい）　原田侑樹（ゆうき）　本寺愛菜（まな）　山田真姫（まき）

（２月21日現在）

平成24年度 本別中央小学校入学式

<table>
<tr><th>こんなとき</th><th>被保険者の種別</th><th>手続き先</th></tr>
<tr><td>学生やフリーターなど、厚生年金や共済組合に加入していない人が20歳になったとき</td><td>未加入→第１号</td><td>住民課戸籍年金担当</td></tr>
<tr><td>第２号被保険者に扶養されている配偶者が20歳になったとき</td><td>未加入→第３号</td><td>配偶者の勤務先</td></tr>
<tr><td>配偶者が就職して第２号被保険者になり、その第２号被保険者に扶養されるようになったとき</td><td>第１号→第３号</td><td>配偶者の勤務先</td></tr>
<tr><td>第２号被保険者が60歳になる前に、会社などを退職したとき</td><td>第２号→第１号</td><td>住民課戸籍年金担当</td></tr>
<tr><td>第２号被保険者である人が会社などを退職し、第２号被保険者である配偶者に扶養されるようになったとき</td><td>第２号→第３号</td><td>配偶者の勤務先</td></tr>
<tr><td>第２号被保険者（配偶者）に扶養されていた人で、その配偶者が退職したとき</td><td rowspan="3">第３号 → 第１号</td><td rowspan="3">住民課戸籍年金担当</td></tr>
<tr><td>年金受給資格がある第２号被保険者（配偶者）が65歳になり、その配偶者に扶養されていた人が60歳未満のとき</td></tr>
<tr><td>パート収入が１３０万円を超えたときなど、配偶者の扶養から外れたとき</td></tr>
</table>

詳しくは住民課戸籍年金担当へ ☎22-8128

information

住民総参加型スポーツイベント

CHALLENGEDAY

全町民の参加率50％を目標

２月13日に町体育館で開かれた、住民総参加型スポーツイベント本別町チャレンジデー2013実行委員会（大西光夫実行委員長）で、「スポーツは健やかな日々へのパスポート」をメインテーマに３回目となるチャレンジデー開催が決定しました。

会議では、大西実行委員長が「昨年は参加率50％に約100人届かなかった。多くの町民が参加するイベントになるように取り組みたい」とあいさつ。続いて、昨年の経過報告、組織体制、事業計画、予算などについて協議し、「全町民の参加率50％」を目標とすることを確認しました。

気になる対戦相手は、３月上旬に決まる予定です。

と　き　平成25年5月29日（水）
午前０時～午後９時

ところ　町内ならどこでもＯＫ

対　象　子どもから大人

チャレンジデーとは？

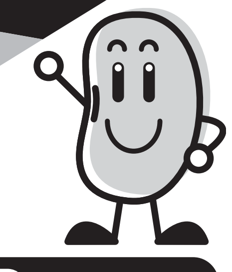
毎年５月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベント。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前０時から午後９時までの間に、15分間以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を対戦相手と競い合うものです。敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎メインポールに１週間掲揚し相手の健闘をたたえるユニークなルールが特徴です。

チャレンジデー2013 オフィシャルスポンサー募集中！

本別町チャレンジデー2013実行委員会では、この住民総参加型スポーツイベントをサポートしていただけるオフィシャルスポンサー（協賛企業・団体等）を募集しています。

※スポンサー料はチャレンジデー運営などの財源として活用させていただきます

※支援いただいた企業・団体名をチラシ等に掲載いたします



チャレンジデー および スポンサーに関する問い合わせ
実行委員会事務局（町体育館内スポーツ担当）☎22-2331

Genkitchen

ゲンキッチン

HOKKAIDO HONBETSU

おいしさ発見しませんか

本別町農産物ものづくり館では、調理器材や設備が充実し、農産物・牛乳・肉加工品の試作、実習などが気軽に楽しめます。利用目的は、サークルなどでの調理実習、あるいは食育、新商品開発など、なんでもＯＫです。常駐する専任指導員が、加工や調理方法、調理器具の使い方などについて優しくサポートします。ぜひご利用ください。

専任指導員
浅井士朗 主査

利用しやすく、楽しく活動できる空間作りを心掛けるとともに、安心・安全な食品で皆さんの食卓が少しでも豊かになることをお手伝いします。

利用について

事前に申し込みが必要になります。専任指導員がいますので、お気軽にご利用ください。

開館日　月曜日～金曜日
※土・日曜日および祝日、年末年始（12/30～１/５）は休館となります。
ただし、土・日曜日、祝日の使用申請があった場合は開館します

利用時間　午前９時～午後10時　※正午から午後１時、午後５時から午後６時を除く

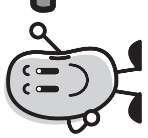
農産物加工施設使用料金

室名		使用料（1時間当たり）		
		室料	電気料	暖房料（11月～４月）
農産加工実習室	全体	９００円	４００円	２００円
	実習室	５００円	２００円	１００円
	加工室	４００円	２００円	１００円
乳製品加工実習室		３００円	２００円	５０円
肉加工実習室		３００円	２００円	５０円

備　考
1. 水道・下水道料・ガス料は実費とします
2. 町外者の使用料は1.5倍となります
3. 町民が営利目的で使用する場合の使用料は２倍となります
4. 町外者が営利目的で使用する場合の使用料は３倍となります

申し込み受け付け および 問い合わせ
本別町農産物ものづくり館（愛称＝ゲンキッチン）☎22-6688

マイタウンほんべつ



全道大会で健闘　1/25

1月11日から13日に帯広市で開催された北海道中学校体育大会第43回北海道スケート・アイスホッケー大会に出場した町内の中学生6人が1月25日、役場を訪れ、髙橋正夫町長に大会結果の報告をしました。生徒らは、「ベストタイムを出せたのでよかった」などと全道大会の報告をしたほか、この大会で2月2日から5日に長野市で開催される全国大会へ出場権を得た男女4人は、「自分の力を出し切り、自己ベストを更新したい」「応援してくれる人の期待に応えたい」などと力強く意気込みを語りました。髙橋町長は、「万全な状態で本番に臨み、自分の力を発揮してください」と激励しました。

銀河サロン もちつき会　1/24

銀河サロン（三井誠子運営委員長）で、恒例のもちつき交流会が1月24日、商工活性化センターで開かれ、参加した高齢者や障がい者など約60人が、10kgのもち米を、きねと石臼を使い「よいしょ」の掛け声でつきあげました。つきあがったもちは、雑煮やきな粉もちなどにして、みんなでおいしくいただきました。

力強いスケーティング　1/26

本別スケート協会（北口義美会長）主催の第50回本別町スピードスケート選手権大会が1月26日、町民スケートリンクで開催されました。競技は、100㍍から3000㍍までの6種目で実施され、幼児から一般まで39人が出場。選手らは、力強いスケーティングでゴールを目指しました。

生命の尊さを学ぶ　1/25

本別中央小学校（岩野真志校長、280人）5年生51人が1月25日、同校で町国保病院岩永健志医師と町保健師による、「赤ちゃんが生まれるまで」と題した特別授業を受けました。この授業は、5年生理科の単元「人の誕生」の学習として行われたもので、生まれる前の赤ちゃんついて、岩永医師が人形などを使いながら成長の様子を解説。児童らは赤ちゃんの人形を抱いたり、「へその緒は何色ですか？」「胎盤は何でできていますか？」などと積極的に質問し、人が生まれる過程や生命の尊さについて学びました。

ぶつかり合う心と技　1/27

本別剣道連盟（鈴木清志会長）主催による本別町剣道大会が1月27日、町柔剣道場で開催されました。大会には、小学1年生から中学2年生までの12人が出場。試合は、小学生と中学生の2部門によるリーグ戦で行われ、選手らは気迫のこもった掛け声で、「鍛えた心」と「練った技」をぶつけ合う熱戦を繰り広げました。成績は次の通り。（敬称略）

小学生の部
優勝＝府川慧哉

中学生の部
優勝＝野崎将秀

情報を広報電算担当へお寄せください　☎22-8121

各学校の手作りページ

HELLO 仙美里小学校

開校111年目！「新たな歩みを！」を合い言葉に始まった今年度の教育活動も、今、まとめの時期を迎えています。どんな事にも一生懸命・全力で取り組む仙美里小の子どもたち。今年度も、仲間同士で、教職員と、そして、保護者・地域の皆様等と、笑顔で仲良くふれ合う姿が、たくさん見られました。

目指す学校像 子どもも教師も輝く「活力ある学校」

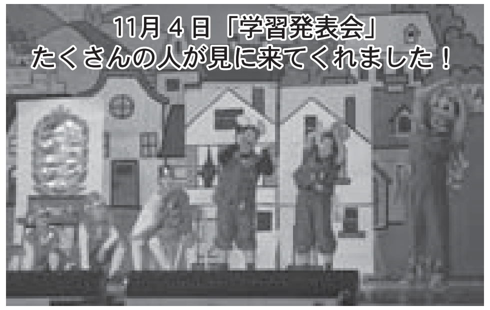
4月9日「入学式」
6人の新1年生をなかまに迎えました

6月6日「農園学習」JA青年部の皆様の指導を受け、落花生・ビート・小豆・さつまいもなどを植えました

6月13日「遠足」足湯にて

7月26日「5・6年キャンプ」
キャンプファイア＆きもだめし

10月5日「小・中交通安全キャンペーン」



11月4日「学習発表会」
たくさんの人が見に来てくれました！

11月15日「保育所との交流」

12月2日「地域参観日」餅つき体験学習

12月14日「陽だまりの里の皆さんとの交流」

マイタウンほんべつ

売り場づくりのテクニック学ぶ（1/28）

本別町農産物ブランドづくり展開事業「売り場づくり」セミナーが1月28日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開かれ、約20人の参加者が売り場づくりのテクニックを学びました。セミナーでは、無印良品開発に携わった経歴を持つＮＡＣ商品研究所の中田哲夫代表が「売り場づくりの基本と実戦」、武蔵野美術大学基礎デザイン学科の宮島慎吾教授が「ディスプレイデザイン」をテーマに講演。２人は、道の駅内の売り場を例に挙げながら、品揃えやレイアウト、配色などを工夫することで、集客や売り上げが大きくアップするとアドバイスしました。

オーストラリア・ミッチェル訪問団が帰町報告（1/29）

昨年11月13日から22日までの10日間、姉妹都市オーストラリア・ミッチェル市を訪問した第16次オーストラリア・ミッチェル訪問団（山下博志団長）町民報告会が１月29日、町体育館で開かれました。14人の団員一人ひとりが、「ミッチェルを知りたかったので応募した」「ホームステイ初日は緊張で眠れなかった」「誕生日パーティーを開いてもらった」など訪問団への応募から帰町するまでの出来事を報告したほか、「コミュニケーションや笑顔の大切さ」など、現地滞在中に感じたこと、学んだことを今後の生活に生かしたいと抱負を述べました。来場した保護者や教諭など約70人は、一回り大きく成長した子供たちの姿に目を細めていました。

復興を願う（2/1）

南１丁目自治会の岡田清治会長ら３人が２月１日、役場を訪れ、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町の復興を願う約1500羽の「折り鶴」を髙橋正夫町長へ手渡しました。折り鶴製作に携わったのは、同自治会の65歳以上で構成される認知症予防教室なごみサークル会員約30人。昨年11月から１か月半かけて、心を込めて製作したもので、本別町から南三陸町へ送られました。

雪上ゲーム楽しむ（2/2）

少年少女冬のレクリエーションの集いが２月２日、河川運動公園芝生広場で開催されました。参加した町内の小学１年生から６年生とその保護者約40人は、３チームに分かれて二人三脚交通安全リレーや綱引きなど７種目の雪上ゲームを楽しんだほか、最後の参加者全員による雪中宝探しでは、「見つけた！」などと歓声を上げていました。

練習の成果を出せるよう頑張る（2/5）

標準記録を突破し、２月17日に札幌市で開催される第35回全国ＪＯＣジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会北海道予選会に出場する本別水泳スポーツ少年団（及川哲夫代表）員など16人が２月５日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に全道大会出場を報告しました。選手らは、「練習の成果を出せるよう頑張ります」「全力を出し切って悔いの残らないよう頑張ります」などと抱負を語り、中野教育長は「ベストタイムを出せるよう頑張ってください」と激励しました。

勇足地区公民館まつりに約600人の来場者（2/9）

第31回勇足地区公民館まつり（実行委員会主催：佐藤猛実行委員長）が２月９日、同公民館を主会場に開催され、同地区内外から訪れた約600人の来場者で一日中盛り上がりました。会場では、子供カルタ大会や勇足地区学校のルーツ展、手芸や工作などの作品展示、昔遊び、ゲートボール大会等が行われたほか、２部に分かれた芸能発表では同地区の幼児、小中学生、一般31組が遊戯や合唱、カラオケやダンスなど多彩なステージを披露。客席からは、大きな拍手や歓声が送られました。

町長がおじゃまします（2/15）

共栄自治会婦人部（大越桂子代表）を中心とした22人の参加者による、町長がおじゃましますが２月15日、共栄集会所で開かれました。髙橋正夫町長が、これまでとこれからのまちづくりについて語った後、参加者との懇談がスタートし、企業誘致や雇用を中心に話し合いがされました。髙橋町長は、「企業誘致も順調で、雇用についてもいい兆しが見えてきている」と述べ、最後に「暮らしやすいまちにするためには、みんなの支えが必要です。共に頑張りましょう」とエールを送りました。

おいしいそばができました（2/15）

地域活動支援センターつつじの園で２月15日に、そば打ち体験が行われました。この体験は、新津和一さん（東町）のご好意により実現したもので、この日は園生とその家族など15人が、そば粉をこねて延ばし、包丁で切るまでを、新津さんの丁寧な指導のもと、真剣な表情で取り組みました。園生らは、「こねるときに力がいるので大変だった」「同じ太さに切るのが難しかった」と話し、出来上がったそばは、温かい天ぷらそばにして、みんなでおいしくいただきました。

文化団体が調理で交流（2/17）

十勝東北部３町の文化協会で組織される、池北三町文化振興協議会の研修会が２月17日、町農産物ものづくり館で実施されました。研修内容は地場農産物を使用した調理実習で、バターロールとシューマイ作りに挑戦。21人の参加者は、調理を通して交流を深め、出来上がった２品は、引き続き行われた交流会でおいしくいただきました。

情報を広報電算担当へお寄せください ☎22－8121

みんなの健康 343

胃の「ABC検診」

胃がんの原因のほとんどがヘリコバクター・ピロリ菌の感染によるものです。ピロリ菌感染の期間が長いと胃がんになりやすい委縮性胃炎になります。胃のABC検診はピロリ菌感染の有無（血液中のピロリ抗体測定）と委縮性胃炎の有無（血液中のペプシノゲン測定）を組み合わせて胃がんになりやすい状態かどうかをABCの3群に分類する検診法です。

A群はピロリ菌検査、ペプシノゲン検査ともに陰性で健康的な胃粘膜です。B群はピロリ菌検査陽性ですがペプシノゲン検査陰性で胃潰瘍の危険性があります。C群はペプシノゲン検査陽性で委縮性胃炎になっている胃粘膜で、胃がんなどの胃疾患になりやすいタイプです。

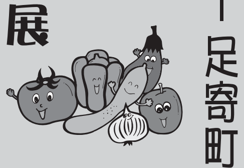
当院では平成24年4月から人間ドックのオプション項目として検査を開始し、4月から12月の間に59人が検査を受けられました。その結果、A群が38人、B群が10人、C群が11人の判定となりました。B群とC群に判定された人のうち4人が内視鏡検査による精密検査を受けたほか、5人が薬剤によるピロリ菌除菌に成功しています。40歳以上で胃潰瘍の既往がある人は胃のABC検診を受けられる事をお勧めします。検診料金は2500円で、本別町民で35歳以上の人であれば半額の1250円が町から助成されます。

本別町国民健康保険病院
臨床検査室
主査　森　育宏

銀河ホットライン
―足寄町・陸別町から―

足寄町

第38回 足寄町消費生活展



□と　き　**3月24日(日)**
午前10時―正午

□ところ　足寄町民センター

□内　容

・リサイクルショッピングコーナー
ご家庭から提供していただいた品を安価で販売します。

・農畜産物消費拡大コーナー
農畜産物を販売します。

・郷土物産展示即売コーナー
足寄町特産の螺湾ブキの加工品やあしょろ農産公社チーズなどの販売を行います。

※このほか技能士会奉仕（包丁研ぎ）や旭町ふれあいプラザ陶芸木彫クラブによる作品展示販売、生ごみ堆肥無料配布など各種コーナーが盛りだくさんです

□詳　細　足寄町役場住民課住民室住民生活担当
☎25―2141内線223

陸別町

陸別観光物産館 新商品のお知らせ

道の駅「オーロラタウン93りくべつ」内、観光物産館で次の新商品が好評発売中です。陸別町にお越しになったときには是非お土産にどうぞ。

「しばれくん・つららちゃん まんじゅう」
1箱6個入り　630円

「らくよう三升漬け」
1個　630円

「しばれくんマスコットストラップ」
1個　630円

□問い合わせ　陸別町振興公社
☎27―2012

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！

北8丁目
井上才千（さいち）くん
（亜由美ママ）

弥生町
吉村虎之輔（とらのすけ）くん
（香澄ママ）

東町
廣尾奈々（なな）ちゃん
（智美ママ）

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

もっと本別町をPRして 2/18

平成24年度小学生・中学生の「町長と語る会」が2月18日、町体育館で開催され、町内各小中学校の児童・生徒12人が髙橋正夫町長と意見を交流しました。児童・生徒らは、緊張した表情を浮かべながらも、自己紹介に続き、将来の夢や自分たちの住んでいる町、地域のいいところを積極的に発表。「もっと本別町をPRしてほしい」「お祭りなどの行事を増やしてほしい」などの要望も出され、髙橋町長は、「皆さんの要望を叶えられるよう検討していきます」と答え、最後に「これからもたくさん遊び、みんなと協力したり輪を作れるよう学校生活などを楽しんでください」と語り掛けました。

ご寄付ありがとうございます

平成25年1月29日から2月18日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。（敬称略）

★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金106,494円
……本別町国保病院透析室親睦会 代表　木戸保弘

金30,000円……負箙2　西谷浩美
金100,000円……足寄町　菅原武志

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

★福祉でまちづくり推進事業
金50,000円……匿名

★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業
金100,000円……東京都
有限会社十和田 代表取締役　飯田和男

戸籍のまど

お誕生

1月前半から2月前半の届出分

横山大翔（だいと）くん	佳純さん 木乃実さん	1/2	勇足元町
上田誠志郎（せいしろう）くん	隆志さん 法子さん	1/8	勇足西5
樋口隼也（しゅんや）くん	隆幸さん 沙稚さん	1/11	南2丁目
金山葵（あおい）ちゃん	翔太さん 昌子さん	1/16	上押帯
塚田巽（たつみ）くん	秀則さん 朋子さん	1/18	美里別高東
工藤想菜（そな）ちゃん	貴弘さん 希代江さん	1/18	山手町
天日聡子（さとこ）ちゃん	聡さん 和恵さん	1/19	柳町
井原望結（みゆ）ちゃん	大介さん のぞみさん	1/24	新町
篠田紗希奈（さきな）ちゃん	侑希さん 沙織さん	1/26	向陽町
山下和花（わか）ちゃん	正弘さん 陽子さん	1/29	勇足西1
沢口花那（かな）ちゃん	健也さん 実奈さん	2/4	柏木町
星姫香琉（ひかる）ちゃん	達也さん 明日香さん	2/5	押帯

おくやみ

古川一美さん	68歳	1/15	北4丁目
林ナヲヨさん	89歳	1/16	仙美里3
坂田花子さん	90歳	1/18	北5丁目
門前フデ子さん	97歳	1/22	美里別東1
西谷ソノエさん	102歳	1/25	負箙2
坂口ヨシ子さん	93歳	2/2	南1丁目
佐々木弘司さん	59歳	2/5	南4丁目
髙橋梅さん	95歳	2/9	柏木町
吉田マサヨさん	85歳	2/11	錦町

わたしたちのまち

前月比

人口	8,073人	(−8)
男	3,965人	(−4)
女	4,108人	(−4)
世帯数	3,823戸	(−7)

〔1月末日住民基本台帳〕

本のある暮らし 144

入所(園)・入学準備も図書館で一発解決!

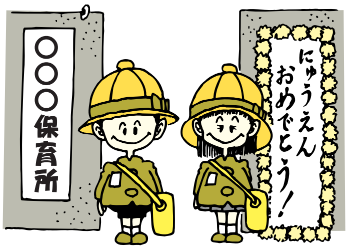
寒い日が続いていますが、春は目の前。

入所（園）・入学の準備は整いましたか？ 毎日使う手提げバックや小物いれ、手づくりしてあげるのもいいですね。

入所（園）・入学に不安でドキドキだけれど楽しみワクワク！そんな子供たちには、家庭で、保育所や小学校のことがわかる絵本を読み聞かせてもいいですね。

図書館には子供たちに届けたい絵本がいっぱい。お母さんに届けたい通所通学準備本もいっぱいあります。

親子で足を運んで、展示コーナーの中からお気に入りの本、大切な一冊を見つけてくださいね。



ホームページでチェック!!

図書館新刊案内の最新情報を本別町公式ホームページ

【http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/】

で見ることができます。ぜひご活用ください。

お問い合わせ先
本別町図書館
（愛称：ぶっくるーむ）
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

■発行 本別町／〒089-3392 北海道中川郡本別町北２丁目４番地１ ■ホームページ http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/
■編集 企画振興課広報電算担当 TEL 0156-22-8121 FAX 0156-22-3237 ■印刷 本別印刷株式会社

資源を大切に――
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。